

開催報告

生物多様性 ユースシンポジウム 2023 in 横浜

2023/11/19 日 13:00~18:00

Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO
西区みなとみらい1-1-1 横浜国際協力センター6階



ネイチャーポジティブ実現に向けて、生物多様性をテーマにシンポジウムを開催しました。当日は、総勢50名の方にご参加いただきました。基調講演、取組紹介、パネルディスカッション、交流ワークショップを通して、国内外のユースや国際機関、企業等、様々な方々とともにインタラクティブな議論と交流が行われました。

主催 横浜市 後援 2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）、環境省関東地方事務所

開会挨拶

横浜市環境創造局長の遠藤賢也により、本シンポジウムに対する期待や生物多様性の意義、自然との共生社会の実現のため、本シンポジウムの目的や「GREEN×EXPO 2027」の開催などに言及し、様々な主体による活動の重要性について話をしました。



開会挨拶の様子

基調講演



「これからの
生物多様性と市民科学」

小堀 洋美 氏
(東京都市大学特別教授)

国内外における生物多様性の現状と潮流を踏まえて、実践事例や成果を交えながら、市民科学の重要性について、御講演をいただきました。



基調講演の様子①



「変革を推進するユースの力」

メリーナ サキヤマ 氏
(GYBN(生物多様性グローバルネットワーク)共同設立者)

環境問題の解決に向けて、ユース世代が社会変革や政策決定において重要な役割を担っていることについて、活動概要とともに、御講演をいただきました。



基調講演の様子②

パネルディスカッション



モデレーター
道家 哲平 氏

国際自然保護連合日本委員会事務局長の道家 哲平さんの進行のもと、2部制で開催されました。

第1部では、市内在学の笹井 涼さん、岡野 直樹さん、村瀬悠さん、市内企業より1名、計4名が、それぞれの取組発表と、「わたしが実践する環境行動」をテーマに、食品ロスやフェアトレード、ワンウェイプラスチック、持続可能な取組等、様々な視点から、意見交換を行いました。



登壇者同士による意見交換

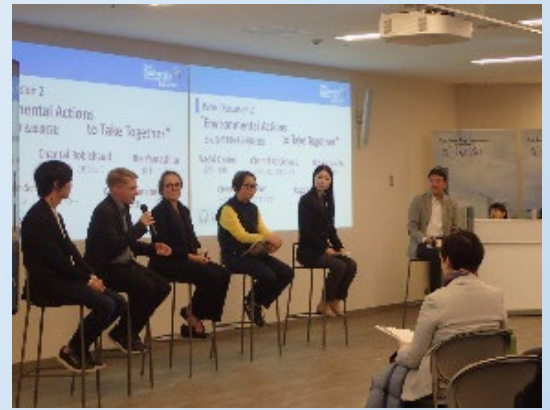
パネルディスカッション

第2部では、第1部のパネリストを代表して岡野 直樹さんと市内企業の2名が登壇し、国内外で活躍するユース団体や国際機関の方等を交えて、「みんなで実践する環境行動」をテーマにディスカッションが行われました。



登壇者の活動紹介の様子

各パネルディスカッションで、パネリスト同士での意見交換のほか、会場参加者の方からの質問、モデレーターの道家さんも交え、「人と自然の共生社会」の実現に向け、「個人で」「みんなで」できる環境行動について議論が交わされました。



登壇者同士による意見交換



《参加者の声》

- ・国内外のユース世代の活動を学べたことは非常に興味深い
- ・発表されたユースの活動内容やメッセージが心に響いた

展示ブース紹介

FAO（国際連合食糧農業機関）やアースデイ東京様からの活動紹介やイベントの案内、ITTO、JICAの資料展示、パネル展示を行いました。



展示ブース紹介の様子

交流会（ワークショップ）

参加者同士で、フリートークを行い、親睦を深めました。生物多様性の重要性や生物多様性保全のためにできることを考え、ネットワークを構築する機会となりました。

《参加者の声》

- ・同世代の参加者にとっても良い刺激になる
- ・国際的な潮流に理解が深まった
- ・ユース世代が国を超えて活動ができるきっかけとなった



交流会の様子

閉会挨拶

シンポジウムの意見交換を通じて、ネイチャーポジティブ経済の実現につながることへの期待についてお話いただきました。



環境省生物多様性主流化室長の浜島 直子さんによる挨拶

来年度に向けて

GYBN共同設立者のクリスチャンシュヴァルツァーさんより、2024年夏に、生物多様性国際ユース会議の開催地が横浜に決定したことについて、発表がありました。



記念撮影の様子



発表を行うクリスチャンシュヴァルツァーさん

